

JILPT 資料シリーズ

No.190 2017年3月

# 介護人材を活かす取組 —キャリアアップと賃金—

# 介護人材を活かす取組

## — キャリアアップと賃金 —

## ま え が き

わが国は世界に例をみない速度と水準で人口の高齢化が進展している。このような状況下で高齢者が長年の経験等を活かし、さまざまな形で社会参加をすることによって、経済社会の活力が維持され、高齢者自身の健康寿命の延伸も期待される場所であるが、そうなったとしても高齢者の比率が上昇する中、介護を必要とする人が増加することも避けることのできない場所である。

国内の労働力が減少する時代に入り、介護労働者の確保は、現在でも困難な状況にあるが、「2025年問題」と言われるように、今後、団塊の世代が、介護等を必要とする者の比率が増大する75歳を超える2025年までに、その担い手が十分に確保されなければ、その頃には50歳台となって社会の中核を成しているであろうその子供の世代である団塊ジュニア世代が、介護と仕事の両立のはざまに様々な困難な状況に陥ることも懸念される場所である。

労働政策研究・研修機構では、厚生労働省の要請を受けて研究会を設置し、介護人材の確保・育成に向けた取組に資する情報の収集・分析を行った。本資料シリーズはその成果をとりまとめたものである。

お忙しい中調査研究にご協力いただいた関係者、ヒアリングに応じてくださった介護事業所の皆様に感謝申し上げます。本書が地域における介護人材確保のための方策の検討にお役に立てば幸いです。

2017年3月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構  
理事長 菅野和夫

### 執筆担当者（執筆順）

佐藤 博樹	中央大学大学院戦略経営研究科 教授	第 1 章
中山 明広	労働政策研究・研修機構 統括研究員	第 1 章、コラム
大木 栄一	玉川大学経営学部教授	第 2 章
高橋 陽子	労働政策研究・研修機構 研究員	第 3 章、資料
郡司 正人	労働政策研究・研修機構 調査部次長	第 4 章
吉田 和央	労働政策研究・研修機構 調査部主任調査員	第 4 章

#### 上記以外の研究参加者

菅野 雅子	フォスターリンク(株) 組織人材開発コンサルタント
金崎 幸子	労働政策研究・研修機構 研究所長
上市 貞満	労働政策研究・研修機構 統括研究員

#### オブザーバー

厚生労働省	職業安定局雇用政策課介護労働対策室
厚生労働省	老健局老人保健課

## 目 次

第1章 介護労働者の確保に向けて	
第1節 背景と目的	1
第2節 各章の要約と知見	4
第2章 介護職の定着と「キャリア・アップの仕組み」の整備—職種と雇用形態に注目して	
第1節 はじめに一問題意識	6
第2節 仕事（職種）別・雇用形態別にみた定着意識（就労継続意識）の状況	8
第3節 人事管理の機能と人事管理の整備状況	9
第4節 人事管理の整備状況と介護職の定着意識（就労継続意識）	11
第5節 おわりに—明らかにされたことを整理すると	16
第3章 介護労働供給増に向けた賃金水準とプロフィール	
第1節 はじめに	19
第2節 データの説明と分析に関する留意点	22
第3節 全国・職種別賃金分布	23
第4節 全国・勤続年数別賃金プロフィール	25
第5節 地域ブロック別・勤続年数別賃金プロフィール	29
第6節 都道府県別の勤続年数プロフィール	30
第7節 介護従事者の人材不足	31
第8節 まとめ	34
第4章 介護労働者の定着・満足度を高めるための事業所の取組（事業所ヒアリング結果）	
第1節 ヒアリング調査結果について	99
第2節 ヒアリング項目	99
第3節 調査対象事業所	100
第4節 各事業所の特徴 —介護労働者の定着・満足度を高める取組	102
《コラム》「資格取得促進」のもたらす効果	116
（資料編）	
都道府県別賃金プロフィール	121